



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 I - n e 上場取引所 東
 コード番号 4933 URL https://i-ne.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 原 義典 (TEL) 06-6443-0881
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	30,468	16.7	3,049	△3.0	3,044	△7.8	3,576	93.4
2022年12月期第3四半期	26,112	24.7	3,142	42.6	3,300	52.1	1,849	50.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 3,546百万円(81.6%) 2022年12月期第3四半期 1,952百万円(56.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	203.36	197.58
2022年12月期第3四半期	105.77	102.24

(注) 2022年11月30日を基準日として、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	21,951	13,913	63.3
2022年12月期	16,490	10,331	62.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 13,885百万円 2022年12月期 10,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年12月期(予想) 期末配当金の内訳 記念配当 13円00銭(東証プライム上場記念配当)

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	17.7	4,300	32.9	4,200	21.1	3,950	105.0	224.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名) 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	17,622,240株	2022年12月期	17,482,240株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	158株	2022年12月期	158株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	17,587,576株	2022年12月期3Q	17,481,996株

(注) 2022年11月30日を基準日として、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は、以下のとおりであります。なお、文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へ移行したことなどを受け社会経済活動の回復が加速した一方、エネルギー価格や原材料価格の上昇等に伴う消費低迷の懸念や地政学リスクの高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中で、当社グループは「We are Social Beauty Innovators for Chain of Happiness ～私たちは、幸せの連鎖を生む為に、社会を美しく変革する～」をミッションに掲げ、「ブランド創出力」「OMO」「IPTOS」を強みとして、独自の商品・ブランド開発モデルによって、積極的な新商品開発、マーケティング、市場開拓、海外展開に取り組んでいるところです。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(a) 国内事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品の日本国内の卸売事業者を通じた小売店及び量販店運営事業者への卸売販売、インターネットを活用した日本国内の一般消費者への直接販売であります。

国内事業では、持続的な成長に向けて、当社が強みを持つヘアケア系、美容家電、スキンケア他のカテゴリーの継続的な投資及び新たなトレンド発掘に注力しました。

BOTANISTブランドにおいては、2023年9月に2023年10月より「ボタニカルシャンプー・トリートメント」をフルリニューアルする旨を発表しました。順調にフルリニューアル商品への販売移行を進め、ブランド全体のマーケティング活動に注力し、売上高の伸長に寄与しました。

SALONIAブランドにおいては、2023年8月に2022年秋冬限定「You & Me」シリーズとして発売した「ベージュカラー」を定番シリーズとして発売しました。また、2023年9月に2023年秋冬限定「シンフォニーシリーズ」を発売しました。「EMSリフトブラシ」が楽天週間ランキング1位を28週連続で受賞するなど美容家電関連商品も引き続き好調に推移し、売上高の伸長に寄与しました。

ナイトケアビューティーブランドYOLUは、2023年9月にダメージケアに着目した新シリーズ「ディープナイトトリペアシリーズ」を発売しました。「ディープナイトトリペアシリーズ」は「カムナイトトリペア」、「リラックスナイトトリペア」に続く第3のシリーズとして、カラーやブリーチによる髪の蓄積ダメージが気になる方や、よりしっとりとした洗い上がりを求めるお客様の声にお応えした『ダメージ集中補修』の商品として、発売後、お客様からご好評いただき、売上高の伸長に寄与しました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,695百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は4,886百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(b) 海外事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品のインターネットを活用した海外の一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット販売事業者、販売代理事業者、美容専門店、ドラッグストアへの卸売販売であります。

中国においてはアリババグループの越境ECであるTmall Global（天猫国際）等を通じた一般消費者への販売に取り組み、香港、台湾においては同国内に多数の店舗が展開されている化粧品・コスメショップ・小売店での販売に継続的に取り組みました。

艾恩伊（上海）化粧品有限公司においては、Tmall.com（天猫）やDouyin（抖音）といったプラットフォームを活用したオンラインでの販売に取り組みました。また、世界的大手原料メーカーTRI-K Industries, Inc.（アメリカ・ニュージャージー州、以下TRI-K）と共同研究室「Hair Research & Innovation Lab」を中国上海に設立し、2023年7月より共同開発した「ボタニカルヘアマスク（スムーズ/ダメージリペア）」をTmall.com（天猫）や

Douyin（抖音）で発売しました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は773百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失は530百万円（前年同期は営業損失462百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,468百万円（前年同期比16.7%増）となりました。また、営業利益は3,049百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は3,044百万円（前年同期比7.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,576百万円（前年同期比93.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

A) 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、19,039百万円となり、前連結会計年度末よりも5,290百万円増加いたしました。その主な内訳は、現金及び預金が1,892百万円、売掛金が2,436百万円、商品が364百万円、前渡金が644百万円それぞれ増加したことによるものです。

B) 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、2,912百万円となり、前連結会計年度末よりも170百万円増加いたしました。その主な内訳は、有形固定資産が15百万円、無形固定資産が49百万円、投資その他の資産が105百万円それぞれ増加したことによるものです。

C) 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、7,962百万円となり、前連結会計年度末よりも、1,899百万円増加いたしました。その主な内訳は、買掛金が692百万円、未払金が200百万円、未払法人税等が775百万円それぞれ増加したことによるものです。

D) 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、75百万円となり、前連結会計年度末よりも、20百万円減少いたしました。その主な内訳は、長期借入金が29百万円減少したことによるものです。

E) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、13,913百万円となり、前連結会計年度末よりも、3,581百万円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が3,576百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年8月9日付「2023年12月期第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

期末配当予想につきましては、2023年8月31日に「配当予想の修正（東証プライム上場記念配当）に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2023年9月19日に東京証券取引所グロース市場から同取引所プライム市場へ上場市場区分を変更したことを記念して、2023年12月期の期末配当において1株当たり13円の記念配当を実施することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,483	7,376
売掛金	4,171	6,607
商品	3,365	3,729
原材料及び貯蔵品	144	193
前渡金	351	995
その他	235	139
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	13,748	19,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	230	242
減価償却累計額	△75	△111
建物及び構築物（純額）	154	130
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△7	△7
機械装置及び運搬具（純額）	3	2
工具、器具及び備品	263	350
減価償却累計額	△220	△268
工具、器具及び備品（純額）	43	82
リース資産	9	12
減価償却累計額	△9	△10
リース資産（純額）	-	2
有形固定資産合計	201	217
無形固定資産		
商標権	1,710	1,575
その他	61	245
無形固定資産合計	1,771	1,820
投資その他の資産		
投資有価証券	30	-
関係会社株式	42	-
繰延税金資産	544	694
その他	152	180
投資その他の資産合計	769	874
固定資産合計	2,742	2,912
資産合計	16,490	21,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,665	2,357
電子記録債務	60	55
1年内返済予定の長期借入金	134	39
未払金	2,046	2,246
未払法人税等	1,129	1,904
返金負債	338	444
賞与引当金	192	305
その他	495	607
流動負債合計	6,062	7,962
固定負債		
長期借入金	60	30
資産除去債務	36	43
その他	-	2
固定負債合計	96	75
負債合計	6,158	8,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,291	3,295
資本剰余金	2,851	2,854
利益剰余金	4,180	7,757
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,323	13,907
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△9	-
為替換算調整勘定	18	△21
その他の包括利益累計額合計	8	△21
新株予約権	-	27
純資産合計	10,331	13,913
負債純資産合計	16,490	21,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,112	30,468
売上原価	12,528	14,379
売上総利益	13,583	16,089
販売費及び一般管理費	10,440	13,039
営業利益	3,142	3,049
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
固定資産売却益	98	-
業務受託料	32	27
受取補償金	1	0
為替差益	37	40
その他	0	2
営業外収益合計	170	72
営業外費用		
支払利息	7	0
支払手数料	5	-
持分法による投資損失	-	42
上場関連費用	-	33
その他	0	0
営業外費用合計	12	76
経常利益	3,300	3,044
特別利益		
関係会社株式売却益	-	2,992
特別利益合計	-	2,992
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	-	30
特別損失合計	0	30
税金等調整前四半期純利益	3,299	6,007
法人税、住民税及び事業税	1,456	2,585
法人税等調整額	△5	△154
法人税等合計	1,450	2,430
四半期純利益	1,849	3,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,849	3,576

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,849	3,576
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	125	9
為替換算調整勘定	△22	△39
その他の包括利益合計	103	△29
四半期包括利益	1,952	3,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,952	3,546

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。